

# 次世代の語り部 夏の集中講話会



定期講話会の様子

## 実施日時

2024（令和6）年 8月 11日（日） 13:00～14:00  
12日（月） 13:00～14:00  
14日（水） 13:00～14:00  
15日（木） 13:00～14:00

## 内容

8月11日（日）、12日（月）、14日（水）、15日（木）  
13:00～14:00に語り部による講話会を連続して実施します。  
1日2名、4日間で計8名の語り部による講話をおこないます。  
加えて、関連する映像や情報をお伝えします。  
※詳しくは裏面をご参照ください。

## 会場

しょうけい館 シアター

（東京都千代田区九段北1-11-5グリーンオーク九段2階）  
地下鉄九段下駅7番出口徒歩3分 ※詳しくは裏面をご参照ください。

## 講話内容

### ●8月11日（日） 13:00～14:00

#### 講話1 「ひめゆりの悲劇」

ひめゆり学徒隊として沖縄戦に参加し、左足を負傷。戦後はその傷の痛みを抱えながらも教師として前向きに働いてきた戦傷病者のお話しをします。

#### 講話2 「生かされた人生への感謝」

戦闘により左腕を負傷。腕の手術による激痛、死ととなり合わせの帰還、戦後の貧困生活など、厳しい現実を幾度となくのりこえ、強く生き抜いた人生をお話しします。

### ●8月12日（月） 13:00～14:00

#### 講話1 「癒えない傷に耐えて」

戦闘によって左脚を切断した戦傷病者のお話しをします。同じ境遇の者にしか分からない苦しみ、戦後も続く傷の痛みなど、厳しい日常生活を耐え抜いた人生を紹介します。

#### 講話2 「捕虜と隔離が打ち砕いた人生」

戦地で捕虜となり、収容所でハンセン病が発覚。戦後も孤独を抱えながら隔離生活を送らなければならなかった戦傷病者のお話しをします。

### ●8月14日（水） 13:00～14:00

#### 講話1 「沖縄戦を生き抜いた2人の女性」

若くして沖縄戦に巻き込まれ、身体の一部を失うという喪失感や絶望感を抱えながらも、厳しい現実をのりこえて強く生き抜いてきた女性たちの人生をお話しします。

#### 講話2 「上肢障害で生き抜いた戦後」

戦争によって片腕を失った2名の戦傷病者のお話しをします。片腕というハンディを負いながらも、家族の支えや自身の努力の末にさまざまな困難をのりこえてきた姿を紹介します。

### ●8月15日（木） 13:00～14:00

#### 講話1 「おじちゃんの腕、へんなんだよ」

両腕を失い、片眼も失明した戦傷病者のお話しをします。家族との思い出や同じ境遇の仲間との絆などを糧に、強く生き抜いてきた姿を紹介します。

#### 講話2 「希望を失った時に届いた一通の手紙」

利き腕を失い、失意の中にあつた戦傷病者が、恩師から届いた手紙によって生きる希望を見出し、家族や周囲の支えによってさまざまな困難をのりこえてきた姿を紹介します。

## アクセス

### ●地下鉄をご利用の場合

- ・東京メトロ「九段下駅（東西線・半蔵門線）」  
7番出口より徒歩3分、5番出口より徒歩5分
- ・都営地下鉄「九段下駅（新宿線）」  
7番出口より徒歩3分、5番出口より徒歩5分

### ●バスをご利用の場合

- ・都営バス「九段下（飯64系統）」より徒歩4分
- ・千代田区コミュニティバス「千代田保健所（九段下駅）」  
より徒歩5分



お問い合わせ先

しょうけい館（戦傷病者史料館）

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-5グリーンオーク九段2階

TEL：03-3234-7821 FAX：03-3234-7826

Email：yoyaku@shokeikan.go.jp